

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
河津町	見高地区	令和3年12月24日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	46ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	29ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	16ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.4ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.6ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・見高地区は平坦な農地が少なく、傾斜地の日照条件の良さを活かした果樹栽培が行われる一方、機械が入らないなど作業効率が悪いという問題点があり農地の集積・集約化が進みにくい現状がある。
 ・若手の生産者が少なく後継者を確保できていない生産者が多いため、農地の荒廃化が進行する懸念がある。
 ・鳥獣害被害による耕作意欲の低下が懸念される。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・地区内には、SS等の機械を活用し効率的な営農に取り組む中心経営体や施設を活用して高収益作物を栽培する中心経営体がいる。これらの中心経営体が効率的に農地を活用できるよう、基盤整備事業による優良農地化を検討する必要がある。
 ・農業者と農業委員会等が相談しやすい環境を作り、地域の耕作者が耕作できなくなる農地について後継者へのマッチングを進める。それでも後継者が見つからない農地については、地域内組織による活用を検討する。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	柑橘	1.4 ha	柑橘	2 ha	
認農	B	施設花卉等	1.1 ha	施設花卉等	1.1 ha	
認農	C	施設花卉等	1.6 ha	施設花卉等	1.6 ha	
認農	D	柑橘	1.9 ha	柑橘	1.9 ha	
認農	E	柑橘	1.2 ha	柑橘	1.2 ha	
認農	F	露地野菜・中晩柑	1 ha	露地野菜・中晩柑	1 ha	
認農	G	柑橘・露地野菜	1.1 ha	柑橘・露地野菜	1.1 ha	
認農	H	施設野菜等	0.7 ha	施設野菜等	0.7 ha	
認農	I	イチゴ等	2 ha	イチゴ等	2 ha	
認農	J	施設花卉・柑橘	1 ha	施設花卉・柑橘	1 ha	
計	10人		13 ha		13.6 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地中間管理機構の活用方針

見高地区で盛んに行われている果樹栽培においては、長期的に安定した農地の貸借を実施する必要があるため、農地中間管理事業による貸借を推進する。

中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

基盤整備への取組方針

農業の生産性の向上や中心経営体への集積・集約化を目指し、平坦でまとまった農地を創出するための基盤整備事業の実施を検討する。

鳥獣被害防止対策の取組方針

鳥獣害防止柵の設置等有害鳥獣対策を実施しているが、依然として鳥獣被害があることから、地域における有害鳥獣対策の効果があがるよう講習会を開催する。

荒廃農地対策

担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、集積できない農地については、景観作物の栽培や保全管理を地域内で行えるよう組織化に取り組んでいく。